

平成 30 年度「広島DPAT」養成研修 実施要領

1 目的

県内外における地震、台風等の自然災害や航空機・列車事故等の大規模災害時に、被災地において精神科医療及び精神保健活動の支援を行う「災害派遣精神医療チーム（広島DPAT）」の一員として活動できる人材を養成するため、講義、演習を通じて、DPAT 活動を行うに当たっての基本的な知識を習得することを目的とします。

2 実施主体

広島県（協力：DPAT事務局）

3 実施日時及び会場

【日時】平成 31 年 2 月 17 日（日）9 時 00 分から 17 時 00 分まで（受付 8 時 30 分～）

【会場】広島県庁 6 階講堂（〒730-8511 広島市中区基町 10-52）

4 対象者

広島県内の精神科を有する医療機関に勤務する精神科医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理技術職、理学療法士、作業療法士、薬剤師、事務職員 等

◇ 医療機関ごとに、精神科医師、看護師（1～2名）、ロジスティクス※（業務調整員：1～2名）で構成するチーム単位（3～5名）での受講を基本とします。（1～2名での申込も可能です。）

※ ロジスティクス（業務調整員）とは…連絡調整や運転等、DPAT 活動の後方支援全般を行う者で、職種は問いません。（PSW、心理職、PT、OT、ST、薬剤師、事務職員 等）

5 研修内容

別紙『「広島DPAT」養成研修 プログラム（案）」のとおり

6 受講料

無料（ただし、会場までの交通費、宿泊費については参加者側の負担とします。）

7 持参物

(1) Wi-Fi 通信が可能なノート（モバイル）パソコン

インターネットを使用した演習を行う予定のため、Wi-Fi によりインターネットに接続できるノート（モバイル）パソコンを 1 医療機関につき 1 台持参してください。（Wi-Fi によるインターネット接続環境は会場に準備しますが、無線ルーター等が持参可能な場合は持参してください。）

(2) スマートフォン

J-SPEED+アプリを使用した演習を行う予定のため、スマートフォンをお持ちの受講者は、事前に J-SPEED+アプリをインストールの上、持参してください。インストール方法は DPAT 事務局ホームページ (<https://www.dpat.jp/>) の「J-SPEED+システム簡易操作マニュアル」を参照してください。

※ J-SPEED+の ID、パスワードは研修当日お知らせします。

(3) 所属する医療機関の EMIS（広域災害救急医療情報システム）の ID、パスワード

※ EMIS の ID、パスワードは、「救急医療 NET HIROSHIMA」で使用する医療機関コード、パスワードと同一です。

8 申込方法

医療機関毎（複数チームで参加する場合はチーム毎）に取りまとめ、郵送、FAX、電子メールにより、別紙「平成 30 年度広島 DPAT 養成研修受講申込書」を健康福祉局健康対策課宛にお申込みいただくか、「広島県電子申請システム」により WEB からお申込みください。

9 その他

広島県は、本研修を受講したチームが属する医療機関に対し、「広島 DPAT 派遣協力医療機関」として、DPAT 派遣に関する協定の締結に向けた協力依頼を行う予定です。

「広島DPAT」養成研修 プログラム

開始	終了	時間 (分)	内 容	講 師
8:30			受付開始	
9:00	9:10	10	開会・オリエンテーション	
9:10	9:40	30	【講義①】「DPATとは～災害派遣精神医療チームの役割と活動」 【ねらい】－DPATの活動に必要な基礎的な知識を習得する－ ⇒ DPATの意義・役割・活動内容・実際の活動報告など、DPAT活動に必要な基礎知識等を習得する。	DPAT事務局 島根県立こころの医療センター 医長 高尾 碧
9:40	10:00	20	【講義②】「広島県の災害時の体制について」 【ねらい】－広島県における災害時の対応について学ぶ－ ⇒ 災害・危機事案に対する県の対応と災害時の公衆衛生チームの派遣体制等について理解を深める。	広島県 健康福祉総務課 主幹 藤川 賢壮
10:00	10:50	50	【講義③】「災害時における心のケア～広島DPATの活動について～」 【ねらい】－広島県の災害時の心のケア体制等について学ぶ－ ⇒ 熊本地震や西日本豪雨災害時の広島DPAT活動の実際、広島DPAT活動マニュアルの概要等について理解を深める。	広島県立総合精神保健福祉センター 所長 佐伯 真由美 (DPAT 統括者)
10:50	11:00	10	休憩(10分)	
11:00	11:30	30	【講義④】「災害時のDMAT活動と災害現場における連携体制」 【ねらい】－DMAT活動と関係機関との連携について学ぶ－ ⇒ 災害時におけるDMAT活動の実際と災害現場におけるDPAT等の関係機関との連携について理解を深める。	県立広島病院救命救急センター 主任 石井 龍 (日本DMATインストラクター)
11:30	12:00	30	【講義⑤】「災害時のロジスティクス」 【ねらい】－災害時のロジスティクスの考え方を学ぶ－ ⇒ 災害時におけるロジスティクスの考え方や必要性について、必要な知識を習得する。	DPAT事務局 岡山県精神科医療センター 医療福祉班長 牧野 秀鏡
12:00	13:00	60	昼休憩(60分)	
			【講義・演習①】「情報通信及び災害診療記録」 【ねらい】－講義・演習を通じて情報通信等を学ぶ－ ⇒ 災害時におけるDPATの活動について、通信機器(EMIS・J-SPEED)の使用等、演習を通じ必要な知識等を習得する。	DPAT事務局 事務局員 岸野 真由美
13:00	14:10	70	① EMISについて 講義: 病院支援時の情報支援システム 演習: EMISのログイン・緊急時入力・詳細入力	
14:10	14:20	10	休憩(10分)	
14:20	15:10	50	② 災害時の記録とJ-SPEEDについて 講義: 災害時の診療録, J-SPEED 演習: J-SPEED 入力	DPAT事務局 事務局員 岸野 真由美
15:10	15:20	10	休憩(10分)	
15:20	16:55	95	【講義・演習②】「DPAT本部活動」 【ねらい】－演習を通じて災害時のDPAT本部活動を学ぶ－ ⇒ 災害時におけるDPATの派遣活動について、準備から現場での一連の活動について演習を通じ必要な知識を習得する。	DPAT事務局 島根県立こころの医療センター 医長 高尾 碧
16:55	17:00	05	【閉会】	

◇ 今回の研修受講者は、DPAT 調整本部業務及び被災地派遣業務について、基本的な知識を学ぶことを主眼においたプログラム構成としています。